

令和6年4月1日

各高等学校長様
テニス部顧問様

兵庫県高等学校体育連盟テニス部
阪神支部 部長 阿形 昌宏

阪神高等学校テニス大会団体戦 人数の差異による勝敗の決定方法

人数不足によって、S1・S2・S3・D1・D2 の合計7人対7人の対戦ができない場合、以下のルールに従って対戦を行うものとする。

ルール

ルール1. 人数の少ない方のチームにおける最大の人数が出場できるように対戦を行う。

例) 6人: S1・S2・D1・D2 5人: S1・S2・S3・D1

ルール2. 最大数の試合ができるように対戦を行う。

例) 5人: S1・S2・S3・D2 … ○ S1・D1・D2 … ×

ルール3. 5つの対戦における対戦が行われない試合に関して、対戦ができない方のチームの負けとする。

ルール4. 5つの対戦のうち偶数(4または2)対戦が行われ、かつ、引き分け(2-2または1-1)になった場合、両チームの※取得ゲーム率の高い方の勝ちとする。取得ゲーム率が同じ場合はS1の対戦において勝利した方の勝ちとする。

※ 取得ゲーム率 = (全ての試合の取得ゲーム合計数) ÷ (全ての試合のゲーム合計数)

対戦例

A(7人)vs B(6人)				
S1・S2・D1・D2の対戦を行う。S3はAの勝ち。				
	A	B	対戦	勝ち
S1	①	①	○	
S2	②	②	○	
S3	③	—	—	A
D1	④⑤	③④	○	
D2	⑥⑦	⑤⑥	○	

A(6人)vs B(4人)				
S1・S2・D1の対戦を行う。D2はAの勝ち。				
	A	B	対戦	勝ち
S1	①	①	○	
S2	②	③	○	
S3	—	—	—	—
D1	③④	③④	○	
D2	⑤⑥	—	—	A